

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成19年3月8日(2007.3.8)

【公表番号】特表2003-510390(P2003-510390A)

【公表日】平成15年3月18日(2003.3.18)

【出願番号】特願2001-525262(P2001-525262)

【国際特許分類】

C 08 F	2/24	(2006.01)
C 08 F	2/00	(2006.01)
C 08 F	2/50	(2006.01)
C 09 J	7/00	(2006.01)

【F I】

C 08 F	2/24	Z
C 08 F	2/00	C
C 08 F	2/50	
C 09 J	7/00	

【手続補正書】

【提出日】平成19年1月22日(2007.1.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 a) 少なくとも1種の重合性材料、少なくとも1種の架橋剤、および少なくとも1種の乳化剤を含む反応性相を少なくとも1種の光重合開始剤および反応性相と不混和性の液体に混合してエマルジョンを形成し、不混和性液体が連続反応性相との不連続相あるいは相互連続相を形成するステップと、

b) エマルジョンを成形するステップと、

c) エマルジョンを化学線に曝露して、残留不混和性流体を含有する架橋したポリマーフォームを形成するステップと、

を含む、架橋したポリマーフォームの製造方法。

【請求項2】 残留不混和性液体の少なくとも一部をフォームから除去するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項3】 架橋したまたは架橋しつつあるフォームを熱に曝露するステップをさらに含む、請求項1に記載の方法。

【請求項4】 不混和性液体がエマルジョンの少なくとも74容量%を構成する、請求項1に記載の方法。

【請求項5】 エマルジョンが、200~800nmの紫外線または可視光線を使用して重合または架橋され、あるいは重合および架橋される、請求項1に記載の方法。

【請求項6】 少なくとも1種の重合性材料および少なくとも1種の架橋剤を含む連続反応性相と、反応性相と不混和性の液体を含む不連続または相互連続相と、少なくとも1種の光重合開始剤とを有するエマルジョン。

【請求項7】 不混和性液体がエマルジョンの少なくとも74容量%を構成する、請求項6に記載のエマルジョン。

【請求項8】 300~800nmの波長を吸収する光重合開始剤残留物を含む、寸法的に遠距離の巨視的構造を有する連続気泡架橋フォーム。

【請求項9】 官能基をさらに含む、請求項8に記載のフォーム。

【請求項 10】 フォームが接着剤である、請求項8に記載のフォーム材料。

【請求項 11】 熱重合開始剤残留物を含まない、連続気泡架橋フォーム。

【請求項 12】 300～800 nmの波長を吸収する光重合開始剤の残留物を含む、均質組成の独立気泡架橋フォーム。

【請求項 13】 熱重合開始剤の残留物を含有しない独立気泡架橋フォーム。